

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	全国美術館会議参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	全国美術館会議参画事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	吉澤記念美術館			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2311	名称	博物館法	目	7	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H15	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	1	文化芸術活動の推進					事業分類	
	基本事業	1	文化芸術に触れる機会の充実					参画事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	全国美術館会議に係る経費
------	--------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	全国美術館会議に加入し、美術館の今後の動向や最新情報を得る。また、教育普及活動や展示方法についての技術の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員の割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 全国美術館会議に負担金の支出 (全国美術館会議の活動) 総会・講演会・学芸員研修会等の開催、その成果や各種情報を会員に提供する。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		会議出席日数	回	0	0	1		
		会議等出席者数(のべ人数)	人	0	0	1		
		機関誌収集数	部	2	6	6		
		事業費計	千円	30	30	30		
		一般財源	千円	30	30	30		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	美術館の今後の動向や最新情報を得られた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数		費用は下がった			
	効果が下がった指標数		費用の増減無し	○		
	指標全体		費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

美術館の今後の動向や最新情報を得られており、全国美術館会議に参画することは必要なことである。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
現状を維持する。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	日本博物館協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	日本博物館協会参画事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	吉澤記念美術館			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2311	名称	博物館法	目	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H15	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	1	文化芸術活動の推進					事業分類	
	基本事業	1	文化芸術に触れる機会の充実					参画事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	日本博物館協会参画に係る経費
------	----------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	日本博物館協会に加入することにより、美術館・博物館の全国的な傾向について類似施設の状況や最新情報を得る。また、教育普及活動や展示方法についての技術の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員の割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 日本博物館協会に負担金の支出 (日本博物館協会の活動) 総会・講演会・学芸員研修会等の開催 各種研究・調査結果を会員に情報提供	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		会議出席日数	回	0	0	0		
		会議等出席者数(のべ人数)	人	0	0	0		
		機関誌収集数	部	12	12	12		
		事業費計	千円	25	25	25		
		一般財源	千円	25	25	25		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	美術館・博物館の全国的な傾向について類似施設の状況や最新情報を得られた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）	費用（R6とR5の一般財源増減）	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

美術館・博物館の全国的な傾向について類似施設の状況や最新情報を得られており、日本博物館協会に参画することは必要なことである。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
現状を維持する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	栃木県博物館協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	栃木県博物館協会参画事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	吉澤記念美術館			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2311	名称	博物館法	目	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H15	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	1	文化芸術活動の推進					事業分類	
	基本事業	1	文化芸術に触れる機会の充実					参画事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	栃木県博物館協会参画に係る経費
------	-----------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	栃木県博物館協会に加入し、美術館・博物館の県内の傾向について類似施設の状況や最新情報を得る。また、教育普及活動や展示方法についての技術の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員の割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	(市の活動) 栃木県博物館協会に負担金の支出 (栃木県博物館協会の活動) 総会・講演会・学芸員研修会等の開催 機関誌の発行 会員への各種情報提供 H27から栃木県内「M割」(ミュージアム共通割引制度)の実施が始まった。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		会議出席日数	回	2	2	1		
		会議等出席者数(のべ人数)	人	2	2	1		
		機関誌収集数	部	1	1	1		
		事業費計	千円	5	5	5		
		一般財源	千円	5	5	5		
		特定財源(国・県・他)	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	美術館・博物館の県内の傾向について類似施設の状況や最新情報を得られた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			費用が増加した ○
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数		費用は下がった			
	効果が下がった指標数		費用の増減無し		○	
	指標全体		費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

美術館・博物館の県内の傾向について類似施設の状況や最新情報を得られており、栃木県博物館協会に参画することは必要なことである。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組	取組説明
	現状を維持する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	美術館展覧会開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	美術館展覧会開催事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	吉澤記念美術館			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2311	名称	博物館法 佐野市立美術館条例	目	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H14	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	1	文化芸術活動の推進					事業分類	
	基本事業	1	文化芸術に触れる機会の充実					イベント等開催事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	美術館の企画展開催に係る諸経費
------	-----------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	市民や美術愛好者に展覧会を観覧して満足してもらい、美術への 関心を深めてもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		「見て満足した」と答えた入場者（アンケート回答より）	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		美術館企画展観覧者数	人	3,000	5,000	6,000	6,500	7,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・企画展の開催 「のんびり南画さんぽ」 「現代陶芸の「すがた」と「はだ」」 「源氏物語とみやび」 「丸山瓦全と佐野のお宝保護作戦！」 「空と水のあいだ」	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		所蔵企画展の開催数	回	3	4	3		
		特別企画展の開催数	回	2	1	2		
		事業費計	千円	3,522	4,070	8,293		
		一般財源	千円	3,522	4,070	386		
		特定財源（国・県・他）	千円			7,907		
		(うち受益者負担)	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	市民や美術愛好者に展覧会を観覧して満足してもらい、美術への 関心を深めてもらった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		「見て満足した」と答えた入場者（アンケート回答より）	%	99.1	98.6	97.2	値が大きいほど良い	効果が下がった
		美術館企画展観覧者数	人	4,745	3,150	7,931	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果			↓選択して下さい		
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
	効果は変わらない指標数		費用は下がった	○	費用が増減無し			
	効果が下がった指標数		費用が増加した					
	指標全体							

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和6年度は菜蟲譜の展示と、「丸山瓦全と佐野のお宝保護作戦！」展で重要文化財の展示があり、令和5年度より観覧者数が増えた。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
年間のうち一定期間、菜蟲譜を展示する期間を設け、観覧者数の増を図る。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	美術館講座等開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	美術館講座等開催事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	吉澤記念美術館			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2311	名称	博物館法	目	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H14	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	1	文化芸術活動の推進				事業分類	イベント等開催事業	
	基本事業	1	文化芸術に触れる機会の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	美術館において、展覧会以外に、講座等開催し、美術館や美術に親しむ機会を提供する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民や講座受講者に講座への参加をきっかけに、郷土や美術への理解を深めてもらう。また、美術鑑賞の楽しみ方や美術館の魅力を知ってもらう	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		参加者に対する市民の割合	%	90	90	90	90	90
		満足を感じた人の割合 (アンケート回答より)	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	陶芸教室 9/14 参加者 15名 源氏物語とみやびトークイベント 11/16 参加者 59名	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		講座等開催数	回	1	1	2		
		事業費計	千円	96	46	64		
		一般財源	千円	56	22	41		
		特定財源（国・県・他）	千円	40	24	23		
		（うち受益者負担）	千円	40	24	23		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	郷土や美術への理解を深めてもらい、美術鑑賞の楽しみ方や美術館の魅力を知ってもらった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	↓選択して下さい
		参加者に対する市民の割合	%	80	63	42	値が大きいほど良い	R5とR6の比較
		満足を感じた人の割合（アンケート回答より）	%	100.0	93.8	76.0	値が大きいほど良い	効果が下がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
	効果は変わらない指標数						
	効果が下がった指標数						
指標全体			効果が下がった				

費用	費用は下がった	
	費用の増減無し	
	費用が増加した	○

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

参加者に対する市民の割合は下がったが、満足を感じた人の割合は76%で、美術鑑賞の楽しみ方や美術館の魅力を知ってもらえた。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
限られた予算と人で事業を実施しており、現状を維持する。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	美術館運営協議会運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	美術館運営協議会運営事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	吉澤記念美術館			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2311	名称	博物館法 佐野市立美術館条例	目	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H14	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	1	文化芸術活動の推進					事業分類	
	基本事業	1	文化芸術に触れる機会の充実					審議会等運営事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	美術館の運営に関する意見や要望などを聞く。 年1回開催
------	--------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	美術館運営協議会を開催し、美術館を円滑かつ効果的に運営できるように、委員から貴重な意見や助言を頂く。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		意見・助言数	件	5	5	5	5	5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	2/1 3開催、出席者9名	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		会議開催回数	回	1	1	1		
		事業費計	千円	46	46	61		
		一般財源	千円	46	46	61		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	美術館運営協議会を開催し、美術館を円滑かつ効果的に運営できるように、委員から貴重な意見や助言を頂いた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		意見・助言数	件	5	5	6	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	美術館運営協議会を開催し、美術館を円滑かつ効果的に運営できるように、委員から貴重な意見や助言を頂いた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		意見・助言数	件	5	5	6	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

美術館を円滑かつ効果的に運営できるように、委員から貴重な意見や助言を頂けており、今後も必要な機会である。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組	取組説明
	現状を維持する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市文化協会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	佐野市文化協会支援事業		款	2	新規or継続	継続事業	
	係	文化推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2311	名称	佐野市補助金等交付規則	目	17	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H17	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度	-	事業分類	
	施策	1	文化芸術活動の推進					支援事業	
	基本事業	1	文化芸術に触れる機会の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市民文化の向上のために、様々な文化活動を実施している佐野市文化協会の活動を支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市文化協会の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		文化協会の正会員数	人	1,280	1,244	1,250	1,161	
		市民文化祭への参加・入場者数	人	2,963	5,317	7,182	6,009	

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	(市の活動) ・佐野市文化協会に補助金を支出するための手続きを行う。 ・市民文化祭の共催（前期・後期） (佐野市文化協会の活動) 総会、市民文化祭（前期・後期）、佐野市文化振興大会、各部門の活動推進、イオンde文化祭、市長との意見交換会、市の文化行政に関する提言書の提出、機関紙「さの文化」の発行、佐野桜の配布	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		市民文化祭実施部門数	部門	19	18	17		
		実施事業及び会議等実施数	回	33	38	34		
		事業費計	千円	2,174	2,474	2,474		
		一般財源	千円	2,174	2,474	2,474		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市文化協会の正会員数は10年以上減少傾向にある。市民文化祭への参加・入場者数はコロナ禍を経て徐々に増加している。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		文化協会の正会員数	人	1,244	1,250	1,161	値が大きいほど良い	効果が下がった
		市民文化祭への参加・入場者数	人	5,317	7,182	6,009	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）	費用（R6とR5の一般財源増減）	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		文化協会の正会員数	人	1,244	1,250	1,161	値が大きいほど良い	効果が下がった
		市民文化祭への参加・入場者数	人	5,317	7,182	6,009	値が大きいほど良い	効果が下がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断					
		0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
		0指標						
		2指標						

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市民文化祭参加者の減少、正会員の減少や高齢化が課題となっている。また佐野市文化協会の自立化促進について検討する必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	取組説明	
	佐野市文化協会の文化芸術活動の相談支援を行う。総会、役員会議、団体代表者会議に出席し活動内容を確認するとともに、必要な支援を行う。役員会議で今後の自立化促進に向けた協議を行う。	

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	全国大会等出場者支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	全国大会等出場者支援事業		款	2	新規or継続	継続事業	
	係	文化推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2311	名称	根拠法令、条例等	目	17	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H14	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり			終了年度	—	直営	
	施策	1	文化芸術活動の推進					事業分類	
	基本事業	1	文化芸術に触れる機会の充実					現金等給付事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	本市の芸術文化活動の活性化を図るため、小・中・高等学校等の文化活動を奨励する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	全国大会等出場者の負担を軽減し、激励会によって文化活動を行なう児童、生徒たちの意識向上につなげることで、次世代の文化芸術活動の活発化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		文化活動に参加・鑑賞している人の割合	%	44	43	48	47	58

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・文化関係部活動状況調査及び奨励費の案内（4月～5月） ・奨励費交付6件（贈呈式2件、報告会（合同含む）2件、激励文送付1件実施） 【交付内訳】 佐野松桜高校商業部（個人）1件、佐野高校囲碁・将棋部（個人）3件、佐野高校科学部（団体）1件、将棋（個人）1件	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		市内小・中・高生数	人	11,919	12,186	12,382		
		市内文化部活動数	団体	98	102	113		
		奨励費申請数	件	4	5	6		
		事業費計	千円	80	60	35		
		一般財源	千円	80	60	35		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	申請のある部活動の種目が多種にわたるようになり、個人からの申請も見られるようになるなど、文化活動で活躍する児童生徒の増加と事業の認知度の向上が着実に図られていると言える。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		文化活動に参加・鑑賞している人の割合	%	43	48	47	値が大きいほど良い	効果が下がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		

費 用	費用は下がった		
	費用の増減無し		○
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

個人が複数の全国大会に出場するケースや外的要因による贈呈式延期等、状況に適した奨励方法を検討し対応する必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
	事業効果を上げるための事務改善の検討

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

- ・日程調整等、学校との連絡を遅滞なく実施する。
- ・状況に応じた奨励方法（報告会、激励文等）を検討、実施する。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	子どもふれあい文化芸術事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	子どもふれあい文化芸術事業		款	2	新規or継続	継続事業	
	係	文化推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2311	名称	根拠法令、条例等	目	17	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H30	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度	—	直営	
	施策	1	文化芸術活動の推進					事業分類	
	基本事業	1	文化芸術に触れる機会の充実					イベント等開催事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	子どもたちの豊かな心を育むため、アウトリーチ事業（市内小学校、義務教育（前期課程）への訪問事業）を行い、本物の音楽や美術等に直接触れる機会を提供する。市の事業にあっては、指導者を地元在住や地元出身のアーティストに依頼することで、子どもたちの文化芸術に対する思いや、地域との関わりがより身近に感じられるようになる。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	児童、生徒たちが、優れた文化芸術に触れ体験する機会を提供することで、子どもたちの文化環境をより充実したものにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		小学校全体における実施率	%	33	67	67	61	67
		アーティスト登録件数	件	5	6	11	14	16

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	延べ11校14回実施 葛生義務前期課程(7月)、あそ野学園前期課程(9月)、出流原小(9月)、栃木小(10月)、吉水小(10月)、田沼小(10月)、葛生義務前期課程(11月)、佐野小(11月)、犬伏東小(11月)、多田小(12月)、出流原小(12月)、旗川小(12月)、吾妻小(12月)、旗川小(1月)	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		事業実施数	回	15	14	14		
		事業費計	千円	500	500	460		
		一般財源	千円	490	500	460		
		特定財源（国・県・他）	千円	10				
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	コロナが緩和された令和4年度以降、実施率は全体の6割を超える水準で維持されており、広く認知及び定着が図られていると言える。また、講師の登録件数も増加傾向にあり、事業の拡充化が図られている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		小学校全体における実施率	%	67	67	61	値が大きいほど良い	効果が下がった
		アーティスト登録件数	件	6	11	14	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	コロナが緩和された令和4年度以降、実施率は全体の6割を超える水準で維持されており、広く認知及び定着が図られていると言える。また、講師の登録件数も増加傾向にあり、事業の拡充化が図られている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		小学校全体における実施率	%	67	67	61	値が大きいほど良い	効果が下がった
		アーティスト登録件数	件	6	11	14	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
		効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
		効果は変わらない指標数		費用は下がった				
		効果が下がった指標数		費用の増減無し	○			
		指標全体		費用が増加した				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

学校の担当者が変わったことで、講師の方との連絡調整に滞りが生じる場面が見受けられた。次年度は、年度当初に学校担当者と連絡を取り、事業が円滑に進むよう流れの確認を行う必要がある。また、事業実施校の教職員を対象にアンケート調査を実施し、本事業の効果について数値化を図る必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
・学校担当者との連携を強化する。 ・事業実施校の教職員を対象にアンケート調査を実施し、本事業の効果を可視化する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	文化施設指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	文化推進課	文化施設指定管理事業		款	2	新規or継続	継続事業	
	係	文化推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2311	名称	佐野市文化施設条例 佐野市文化施設条例施行規則	目	18	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H22	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		終了年度	-	事業分類	一部委託	
	施策	1	文化芸術活動の推進					施設維持管理事業	
	基本事業	1	文化芸術に触れる機会の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	文化・芸術や各種催しなど、市民や各種団体が快適かつ安全に文化施設（文化会館及び葛生あくとプラザ）を利用できるよう、指定管理者により施設の運営と維持管理を行う。
------	---

（2）目的

（3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民や各種団体が快適かつ安全に文化施設を利用できるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		文化会館利用件数	件	1,150	1,155	1,160	0	0
		あくとプラザ利用件数	件	445	450	455	500	505
		文化施設利用者の満足度	%	72.0	86.0	86.5	87.0	87.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・指定管理者 事業運営（自主事業）文化会館0件、あくとプラザ10件 維持管理（修繕・植栽）文化会館10件、あくとプラザ16件 ・市 維持管理（修繕・植栽・備品購入）13件	活動指標	単位	R4	R5	R6
		自主事業開催数	回	14	17	10
		修繕・植栽管理実施回数	回	46	51	24
		事業費計	千円	115,189	115,699	72,327
		一般財源	千円	115,189	114,599	72,284
		特定財源（国・県・他）	千円		1,100	43
		（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	令和6年度より、文化会館が休館になったため、あくとプラザの利用件数が増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		文化会館利用件数	件	751	1,003	0	値が大きいほど良い	効果が下がった
		あくとプラザ利用件数	件	247	222	336	値が大きいほど良い	効果が上がった
		文化施設利用者の満足度	%	79.6	80.1	62.5	値が大きいほど良い	効果が下がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	2指標
指標全体	効果が下がった

※ 10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和6年度からは、文化会館が休館になり、あくとプラザ1館での運営になったが、植栽等文化会館休館中にも実施すべき維持管理もあるため、指定管理者と今まで以上に緊密な関係を築き、適切な事業運営・維持管理を実施させる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
文化会館休館に伴い、あくとプラザの利用件数が増加している。初めて、あくとプラザで行われる事業や利用者もいるため、事業運営には細心の注意を払う。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市に関する美術作品等調査研究事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 款 項 目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	文化推進課	佐野市に関する美術作品等調査研究事業		10	新規or継続	継続事業	
	係	吉澤記念美術館			4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2312	名称	根拠法令、条例等 博物館法 佐野市立美術館条例	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		H14	実施方法	直営	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	文化芸術活動の推進					
	基本事業	2	文化資源の有効活用					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市に関する美術作品等研究に関する経費
------	----------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	佐野市関連の美術作品及び収蔵品に関する情報収集により、各作品の芸術的・歴史的意義を明らかにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		展覧会で新しい情報を提示できた作品数	点	50	50	50	50	50
		解説パンフレットや図録などの発行回数	回	2	2	2	2	1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	収蔵品・借用品の調査及び整理 佐野市関連作品の所蔵家訪問調査・各種問合せ対応 関連資料の収集・調査	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		研究用図書購入・文献複写資料収集件数	件	230	272	161		
		実地調査回数	回	40	11	14		
		事業費計	千円	28	39	204		
		一般財源	千円	28	39	204		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	各種資料の収集や、美術館所蔵作品及び佐野市ゆかりの美術作品等の調査研究を行い、その研究成果を、展覧会展示に活用した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		展覧会で新しい情報を提示できた作品数	点	40	178	334	値が大きいほど良い	効果が上がった
		解説パンフレットや図録などの発行回数	回	1	0	1	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
		効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
		効果は変わらない指標数						
		効果が下がった指標数						
		指標全体		○				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

美術作品を収集してきた方が高齢になり、作品の調査依頼が増えてきているが、ほかの業務もあり、調査研究にかける時間を今以上に確保することが課題である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
限られた予算と人で事業を実施しており、現状を維持する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	天明鋳物のまちづくり推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	3-⑤	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	天明鋳物のまちづくり推進事業		款	2	新規or継続	継続事業	
	係	天明鋳物まちづくり係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2312	名称	根拠法令、条例等	目	17	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	R2	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり	佐野市地域おこし協力隊設置要綱、天明鋳物活用促進等補助金交付要領等	終了年度			一部委託	
	施策	1	文化芸術活動の推進					事業分類	
	基本事業	2	文化資源の有効活用					イベント等開催事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	天明鋳物のまちづくり推進計画が掲げる目標を実践する取組を市内外の人々に向けて行うことで、天明鋳物の認知度向上と天明鋳物をとおした交流人口の増加を目指す。その一環として、地域団体商標を活かし、天明鋳物の製品を広くPRするために、天明鋳物振興協議会や地域おこし協力隊と連携し、各種PRを実施する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	天明鋳物の認知度向上と天明鋳物をとおした交流人口の増加を目指すため、各種PR事業を実施する。天明鋳物に関する興味関心を深め、購入し、所有することで製品の素晴らしさに気づく。天明鋳物を介して、本市の良さに気づき、繰り返し訪れてもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		天明鋳物を知っている割合	%	69.3	72.5	72.9	74.2	77.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	○天明鋳物地域おこし協力隊活動支援 ○田村耕一と天明鋳物 ふるさとの銘品に出会い会～WITH高校茶道部～vol.2 (茶会) 開催 ○「丸山瓦全と佐野のお宝保護作戦！」関連イベント開催①天明鋳物の現代作品展示②天明鋳物ゆかりの講談師による講談会③若手鋳物師によるワークショップ【デコレーションペーパーマaking】【天明鋳物体験講座～錫のお香立て作り～】【世界でひとつ作品（お皿）作り】 ○東京ビッグサイトにおいて日本商工会議所主催「f e e l N I P P O N春2025」ブースにて「天明鋳物」出展 ○佐野商工会議所「まちの学校」で天明鋳物関係のワークショップ開催	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		メディアでの掲載回数	件	45	57	49		
		事業費計	千円	548	1,766	5,071		
		一般財源	千円	548	1,766	5,071		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	各種PR事業実施や生産用具の国重文指定などにより、メディアでの掲載回数が増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		天明鋳物を知っている割合	%	72.5	72.9	74.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

コロナ禍が明け事業実施が可能になったため、R4と比較しR5の事業費が増加している。また、R6.3月から地域おこし協力隊を任用したため、その費用分も増加している。今後も天明鋳物の活用に関し、組織横断的に取り組む。また商工会議所など関係機関と連携し、商品開発や販路開拓の取組と、文化財課との連携による歴史文化面からのPRを行う。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
天明鋳物の活用に関し、組織横断的に取り組む。また商工会議所など関係機関と連携し、商品開発や販路開拓の取組と、文化財課との連携による歴史文化面からのPRを行う。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	文化推進課	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事業		款	2	新規or継続	継続事業
	係	文化推進係	根拠法令、条例等		項	1	市単独or国際補助	市単独事業
政策体系	体系コード	231	名称	佐野市補助金等交付規則	目	17	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H2	実施方法
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		終了年度	—	事業分類	一部委託
	施策	1	文化芸術活動の推進					支援事業
	基本事業	2	文化資源の有効活用					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	伝統文化の保存・継承を図るために、加盟団体の行う後継者育成を支援するとともに、郷土芸能に対する市民の認知を高めるため、フェスティバルの開催や学校への訪問講座といった活動の支援を行う。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	協議会の円滑な運営及び財政の健全化を図り、郷土芸能の保存・継承活動を継続的に行えるよう支援する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		事業(フェスティバル、学校訪問)の延べ来場者数、参加者数	人	—	450	600	250	350
		事業(フェスティバル、学校訪問)への子どもの参加人数	人	—	127	85	85	90

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	総会1回、理事会3回の開催 第35回郷土芸能フェスティバルの開催（令和7年1月19日） 学校訪問事業2回の実施 ・犬伏東小学校（鎧塚宮比講神楽保存会） ・葛生義務教育学校（越名舟唄保存会）	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		協議会加入団体会員数	人	199	184	181		
		協議会加入団体数	団体	11	11	11		
		伝統文化の発表の場への参加団体数	団体	3	5	3		
		事業費計	千円	600	600	600		
		一般財源	千円	513	600	600		
		特定財源（国・県・他）	千円	87				
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	郷土芸能フェスティバルでは、3団体が出演し延べ200名程度の集客を得ることが出来た。また、学校訪問事業では、令和6年度も各郷土芸能にゆかりのある学校から募集がみられ、認知及び定着がなされてきていると言える。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		事業(フェスティバル、学校訪問)の延べ来場者数、参加者数	人	450	600	250	値が大きいほど良い	効果が下がった
		事業(フェスティバル、学校訪問)への子どもの参加人数	人	127	85	85	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断					
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	0指標 1指標 1指標 効果が下がった	費用指標	単位	R4	R5	R6
			費用は下がった		450	600	250
			費用の増減無し			85	85
			費用が増加した				○

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

費用を有効活用するための方法を検討する必要がある。また、広報活動についても、令和6年度に実施したものの定着化を図るとともに、さらなる促進に努める必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
<ul style="list-style-type: none"> ・費用の有効な活用方法について検討する。 ・フェスティバルのポスター・デザインやカラーリング、キャラクターの活用等、広報活動の定着化及び拡充に努める。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	牧歌舞伎地元公演支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	牧歌舞伎地元公演支援事業		款	2	新規or継続	継続事業	
	係	文化推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2312	名称	佐野市補助金等交付規則	目	17	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H2	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度	-	事業分類	
	施策	1	文化芸術活動の推進					支援事業	
	基本事業	2	文化資源の有効活用						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	栃木県指定無形民俗文化財「牧歌舞伎」を保存継承していくため、牧歌舞伎保存会が隔年で行う地元公演を支援している。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	栃木県指定無形民俗文化財「牧歌舞伎」の伝承について理解を深める。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
		地元公演の来場者数	人	-	600	-	600	-	
牧歌舞伎を知っている割合		%	33.7	34.9	36.7	35.2	35.5		

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	(市の活動) ・牧歌舞伎保存会に補助金を支出するための手続きを行う。 ・県後援取得の仲介手続き、当日の受付等事業実施支援を行う。 (牧歌舞伎保存会の活動) ・牧歌舞伎地元公演 10月13日（日）実施	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		地元公演回数	回	1	-	1		
		事業費計	千円	270	0	270		
		一般財源	千円	270				
		特定財源（国・県・他）	千円			270		
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市政アンケートにおける牧歌舞伎を知っている割合はやや減少したが、地元公演の来場者数は同程度で推移している。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		地元公演の来場者数	人	600	-	600	値が大きいほど良い	-
		牧歌舞伎を知っている割合	%	34.9	36.7	35.2	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）	費用（R6とR5の一般財源増減）	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		地元公演の来場者数	人	600	-	600	値が大きいほど良い	-
		牧歌舞伎を知っている割合	%	34.9	36.7	35.2	値が大きいほど良い	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

隔年実施事業。地元の葛生地区を中心にPR活動を実施しているが、PR方法等を検討する。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組	取組説明
	令和8年度開催に向けて、PRの方法等を牧歌舞伎保存会と協議する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	美術館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課	美術館維持管理事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	吉澤記念美術館			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2313	名称	博物館法 佐野市立美術館条例	目	7	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H14	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	1	文化芸術活動の推進				事業分類	施設維持管理事業	
	基本事業	3	文化芸術施設の基盤強化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	美術館の維持管理運営に関わる諸経費
------	-------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	美術館敷地、施設設備、収蔵作品に関して、施設の維持管理をとおして快適な環境を整備し、市民及び市外からの来館者が文化・芸術に触れる機会の充実を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		不満及び要望・希望件数／来館者数	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・施設設備の維持管理にかかる消耗品の購入 ・所蔵作品盗難保険・受託者賠償責任保険への加入 ・美術館ボランティアに対する学習会の実施 ・受付・清掃・保守・警備等年間業務委託	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		業務委託件数	件	12	13	13		
		修繕件数	件	2	6	7		
		開館日数	日	229	230	233		
		事業費計	千円	21,481	22,070	22,612		
		一般財源	千円	12,885	15,088	15,364		
		特定財源（国・県・他）	千円	8,596	6,982	7,248		
		（うち受益者負担）	千円	2,204	1,773	3,934		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	充分な施設の維持管理をとおして快適な環境を整備し、文化・芸術に触れる機会の充実を図れた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		不満及び要望・希望件数／来館者数	%	0.1	0.1	0.1	値が小さいほど良い	効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			↓選択して下さい		
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
	効果は変わらない指標数		費用は下がった					
	効果が下がった指標数		費用の増減無し					
	指標全体		費用が増加した	○				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

来館者からは、静かで落ち着いた環境でよいという意見が多く聞かれる。 植栽や芝・池の美観維持のため努力されたいという意見も寄せられている。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
限られた予算と人で事業を実施しており、現状を維持する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	文化会館リニューアル事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	1-⑤	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	文化推進課	文化会館リニューアル事業		款	2	新規or継続	継続事業	
	係	文化推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2313	名称	PFI法	目	18	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	R1	実施方法	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度	R8	事業分類	
	施策	1	文化芸術活動の推進					施設等整備事業	
	基本事業	3	文化芸術施設の基盤強化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	文化会館は、昭和54年の建設から40年以上が経過し、老朽化が顕著である。市民が安心安全に利用できる状態にするためには、多数の設備更新が欠かせないところから、PPP・PFI等民間活力による改修及び運営を導入する。民間事業者を選定するあたり、アドバイザリー業務委託を結び、設計、工事、維持管理、運営を委託する事業者を公募し、令和9年4月にリニューアルオープンする。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が安全安心に文化会館を利用できるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		文化会館利用者数	人	165,360	165,390	165,420	0	0
		文化会館利用者の満足度	%	72.0	86.0	86.5	0	0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	第6～14回のプロジェクト会議の実施（4月～8月） 基本・実施設計に向けた協議（10月～2月）	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		事業者との協議回数	回	0	5	13		
		事業費計	千円	18,008	10,653	95,584		
		一般財源	千円	18,008	7,653	62,284		
		特定財源（国・県・他）	千円		3,000	33,300		
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	事業者との協議を実施し、令和8年12月竣工に向け事業を進めている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		文化会館利用者数	人	103,573	155,994	0	値が大きいほど良い	効果が下がった
		文化会館利用者の満足度	%	86.8	84.1	0	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）	費用（R6とR5の一般財源増減）	効果指標	単位	R4	R5	R6		
		文化会館利用者数	人	103,573	155,994	0	値が大きいほど良い	効果が下がった
		文化会館利用者の満足度	%	86.8	84.1	0	値が大きいほど良い	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新築工事ではなく、改修工事のため、事前調査や事前調査の結果の対応に時間がかかってしまった。
令和8年12月竣工に向けて、遅滞なく大規模改修事業が進むよう事業者との調整を図る。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	取組説明	
	現状の計画通り、事業が進行するよう、事業者やコンサル、建築住宅課と進捗状況を確認する。	
□ 事業効果を上げるための事務改善の検討		
□ 事業費の見直し検討		
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討		
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）		